

令和8年1月1日 藤崎保育園

新しい一年のスタートです。年末年始のお休みはご家族で楽しいひと時を過ごし、また元気な姿で登園してきてくれることを楽しみにしています。寒さに負けず、外遊びや室内での製作など、季節ならではの活動を取り入れながら、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。



9日(金) 獅子舞・園医健診
15日(木) すずらん組懇談会
22日(木) ひまわり組懇談会
28日(水) らんらんランド
29日(木)



- 身近な冬の自然に興味を持つ
- 友だちと一緒に伝承遊びを楽しむ



新年を迎え、各家庭でもそれぞれの過ごし方で新しい1年の訪れをお祝いされたことと思います。ご家族でのゆったりとした時間をみなさんが過ごせていることを祈っております。

さて、私事ではありますが、実はこの度子どもを授かり、2月末に出産を控えているため、1月よりお休みをいただくことになりました。「おめでとう話」というにはまだ少しだけ気が早いのですが、この場でご報告をさせていただきます。

4月に藤崎保育園に異動をしてきてから、9か月間という短い期間ではありますが、その中でもたくさん子どもたちの成長を感じる場面に出会えました。苦手なものを食べてみようとする前向きな姿、集会等で話した食べ物の働きを口にしながら、自分の身体のことを考えて食事に向かう姿等、各年齢それぞれで素敵な様子を見ることができ、いつも子どもたちから元気をもらって過ごしてきました。栄養のことや食事のマナーを教えることも大切にしていますが、私は、子どもたちが食を楽しみ、好きになってくれることが一番の喜びであり、目標としています。自分が伝えてきた話の一つでも、そのきっかけになっていれば嬉しいなと思います。

卒園や進級を見届けることができないのは寂しいですが、お休みの間も、藤崎保育園の子どもたちの幸せと健やかな成長を願っています。無事に戻ってきたときは、またよろしくお願いします！

兼務栄養士



藤崎保育園～子どものつばやき特集①～

日々の保育の中で子どもたちとのやり取りを大切にしています。くすっと笑うくらい可愛いつばやきや大切なことに気が付かせてくれる言葉、また子ども達同士のやり取りも聞き耳を立てて聞いています♪
そんな保育の中で聞いたちょっとした子どもたちのつばやきを各クラスで集めてみました。ぜひ、ご覧ください。
まずは【乳児クラス編】です！



なのはな組(0歳児クラス)

かわいいおしゃべりが始まったばかりのなのはなぐみ。

「ぱっぱ(葉っぱ)」 「てえんてえ(先生)」など、この時期だけの期間限定かわいい言い回しを聞いたたびにキュンキュンしている担任です。…と思ったら、「え！今○○って言った！？」と妙にはっきりとした難しい言葉を言ったように聞こえて驚いたり、とにかく子ども達が何かお話してくれるたびに盛り上がっています。



もも組(1歳児クラス)

お話上手になってきたももぐみ。子どもたちとのやり取りに毎日担任は癒されています！
そんなももぐみは、歌が大好きで歌の絵本をもってきて「よんで！」と一緒に歌を歌って楽しんでいます。
ある日の朝、牛乳を飲んで園庭に行く準備をしているとき、Aくんがおうちで教えてもらったのか
“アルプス一万尺”の歌を歌い始めました。“いろいろな新しい歌を覚えてくるな～、みんなで今度歌いたいな～”と内心想って聞いていたら…「あるぷす いちまんじゃ～く おやじの～ う～え～で」と聞こえてきて、その瞬間担任は大爆笑。本当の歌詞は「こやりのうえで」なのですが、言い間違えなのか、そう聞こえてAくんが覚えたのか…「おやじの～ う～え～で～ あるぺんおどりを さあおどりましょう」で2度目の大爆笑でした。毎日にぎやかに過ごしています♪(笑)



たんぽぽ組(2歳児クラス)

お部屋でお友達とレゴブロックで遊んでいる途中で、トイレに行きたくなってしまったAくん。
お友達に「トイレ行ってくるから(なくならないように)持ってて！」と言い、トイレに行きました。
担任が「先生もなくならないように見てるね」というと「○○○ちゃんに持っててもらうの！」と言うAくん。
お友達へのすごい信頼感にくすっと笑ってしまいました。
お話が上手になってきてお友達とやり取りしながら遊べるようになってきて、絆が深まっているな～と感じました。
もうひとつ、お昼寝明けのエピソードをご紹介します。お昼寝明けにトイレに来たAちゃん。便座に座り、なんだか悲しそうな表情で「Aもち○ち○ほしいの…」と言。
「Aちゃんはママとお揃いだからよかったね」と担任が返すと「ママもほしいって言ってた！」…！！
ついクスッと笑ってしまいました(笑)一度は憧れる女の子あるあるですね。

いかがでしょうか？乳児クラス特有の可愛いことばや子どもたち同士のやりとりに癒されています。
続いて幼児クラスの方を紹介します！



藤崎保育園～子どものつばやき特集②～

【幼児クラス編】



すずらん組(3歳児クラス)

多くのことを理解してきている子ども達。そんな中、職員の早番、遅番も理解してきています。遅番でも「ちょっとの遅番」「いっぱい遅番」と遅番を判断している子ども達。「今日のちょっとの遅番は？」「いっぱい遅番は誰？」と遅番の先生を気にしています。担任が少し遅めにクラスに入ってくると「ちょっとの遅番！」と時間を見て判断していました。担任がいっぱい遅番だと知るとニコニコ笑顔に。子どもによっては明日の遅番が誰かを分かっている子もいて、なんで知っているの？と驚く担任です。



ひまわり組(4歳児クラス)

庭で、鬼ごっこをしていた時のエピソード。

A ちゃんが鬼に捕まらないように走っていたのですが、タイムアップ終了時間ギリギリに鬼にタッチされてしまいました。A ちゃんは悔しい気持ちで目に涙をいっぱい溜めてこらえていました。その様子を見た B ちゃん(先に捕まっていた子)が、傍に行き「あともうちょっとだったね！惜しかったよ。でも、すごいじゃん！」と A ちゃんの顔を覗きながら優しく声をかけていました。4 歳児らしい友達の気持ちに気がついたり、思いやりのある姿があり、担任も心がほっこりしました。

この優しさや友達を思いやる心が、クラス全体に広まってくると嬉しいな～と思います。



さくら組(5歳児クラス)

先日、旭町小学校へ散歩に行ってきました。この日は小学生と一緒に遊ぶのではなく校庭の端を一周ぐるっと歩かせてもらいました。校庭の端にあったタイヤ飛びや登り棒を行い、子どもたちは今までよりも小学生になりたい気持ちが高まっています。

保育園に帰ってから保育園と小学校の違うところを聞くと・・・

「園庭(校庭)が広がった！」「登り棒があった！」「大きさが違う鉄棒があった！」などいろいろなところに気づいた子どもたち。その中でも「なんかおおきいものがいっぱいあった！」と A ちゃん。

「何が大きかった？」と聞くと「全部！小学校に行くの楽しみになった！」とのこと。

校舎の大きさや校庭の広さ、遊具の大きさなどたくさんのものが大きく感じたようです。大きさの違いに驚きながらも期待が高まっているようです。保育園では年長としてたくさんのことを経験し、頑張っている子どもたちですが、残り三か月も小学生になることを楽しみにして過ごしていきたいです♪

普段の子どもたちとのやり取りを少しですが、ご紹介しました。子どもたち楽しい気持ちを共有しながら、時には子どもたちの行動や言葉からハッと気が付くこともたくさんあり、毎日子どもたちと一緒に保育士も成長させてもらっています！